



# サステナブル社会への 関わり方

第7回政策研究・教育カンファレンス

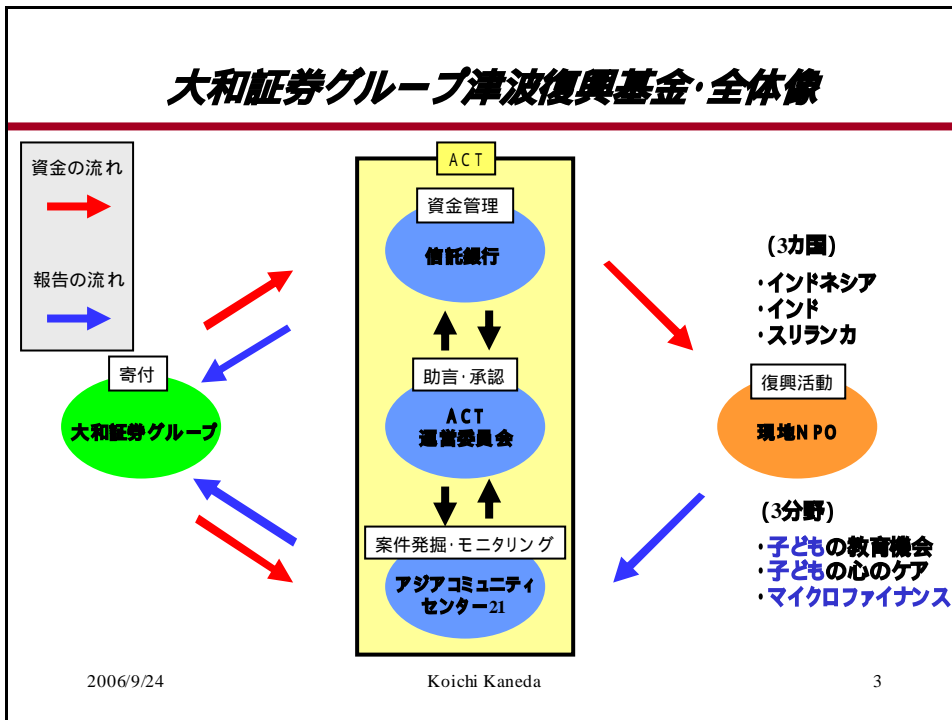
2006年9月24日

大和証券グループ本社  
CSR室  
金田晃一

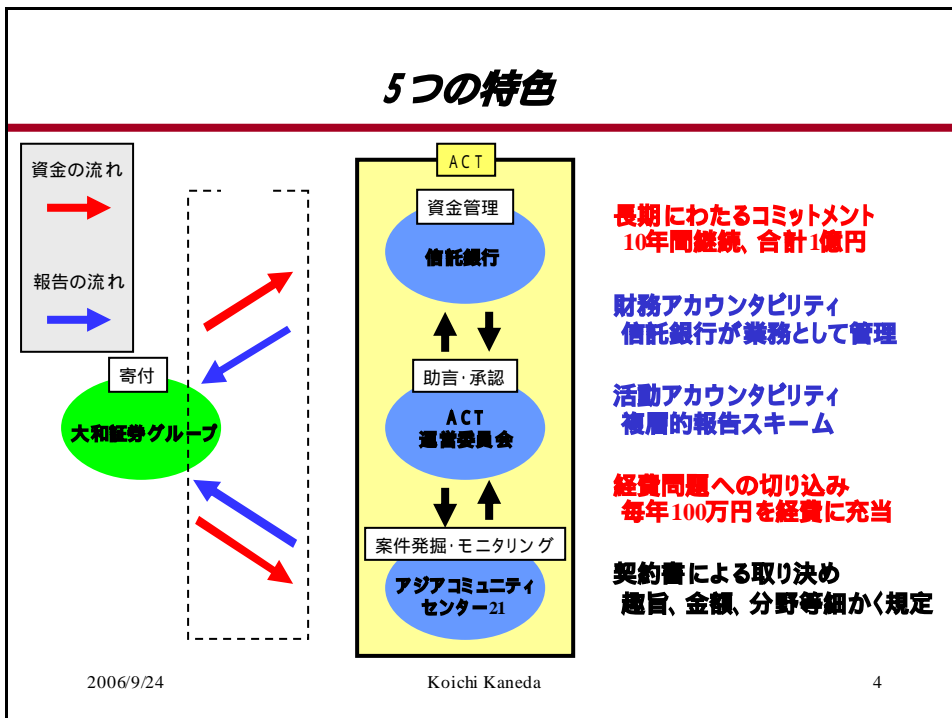
## 第1部 NGOとの協働

～事例：大和証券グループ  
津波復興基金を中心に～

## 大和証券グループ津波復興基金・全体像

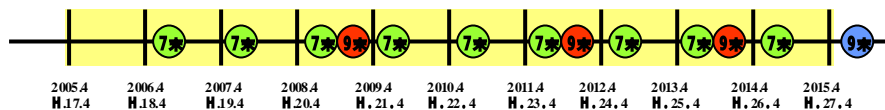


## 5つの特色



## 報告スキーム

1年目 2年目 3年目 4年目 5年目 6年目 7年目 8年目 9年目 10年目



- **9回：活動報告** 毎年7月末までに前年度の活動について報告する。  
 但し、本来行われるべき10年目の活動に対する報告は、総括報告に組み入れるため実施しない。
- **3回：評価報告** 3年分の活動評価を翌年9月末までに報告する。  
 但し、3回目の評価報告は、2年分の活動を評価し、その結果に応じて、最終2014年度の活動に対して、継続支援するか否かを決定する。
- **1回：総括報告** 10年間の活動と評価を総括して報告する。

2006/9/24

Koichi Kaneda

5

## 助成事業(スリランカ)

- 1. 事業名:** **女性の自立と開発プログラム**  
 現地NPO: ウィルポタ女性貯蓄運動  
 受益者数: 225人の女性世帯主(約1125人)および135人の子ども  
 助成額: 320万円(3年計画の1年目)  
 内容: 女性世帯主を対象に、手工業品や食品製造など小規模事業への設備助成と**マイクロファイナンス**を行う。また、両親を亡くした子ども135人に学用品の支援を行う。
- 2. 事業名:** **子どもの精神的ケアと教育支援事業**  
 現地NPO: 有機的で環境に配慮した農業システム財団  
 受益者数: 精神面でのケア: 子ども120人、教育支援: 1200人  
 助成額: 160万円(2年計画の1年目)  
 内容: 心に傷を負った子どもを対象に、メンタルヘルス、スポーツプログラムの開催、苦痛のマネジメント法のトレーニングを行う。また、1200人に対する教育支援を行う。

2006/9/24

Koichi Kaneda

6

## 助成事業(インド・インドネシア)

### インド

#### 事業名: **身体障がい孤児の職業訓練と自立支援事業**

現地NPO: 農村地域向上・エンパワーメント・トラスト  
受益者数: 被災した身体障がい者である10代の子ども75人  
助成額: 119万円(2年計画の1年目)  
内 容: 小物製造について3ヶ月間の職業訓練を行い、寺院や観光地での販売網を開拓して定期的な収入を得られるよう支援する。

### インドネシア

#### 事業名: **子どもの精神的ケアと教育支援事業**

現地NPO: ワルサマ  
受益者数: 避難所で暮らす子ども157人  
助成額: 260万円(3年計画の1年目)  
内 容: 被災した子どもに対して、公式・非公式(インフォーマル)の奨学支援と精神的ケアプログラムを行う。

2006/9/24

Koichi Kaneda

7